

# 水辺のにぎわいへ官民連携

## 「ミズベリング」始動

官民連携で水辺のにぎわいづくりを進めようと国土交通省浜松河川国道事務所はこのほど、「ミズベリング・ハママツ」と銘打ったプロジェクトを始動させた。第1回として浜松市中区のアクトシティ浜松コングレスセンターでワークショップを開き、県西部の市民や自治体、企業関係者ら約60人が川や湖の活用方法を話し合った。

(浜松総局・井沢泰斗)



### 浜松河川国道事務所

## 資源活用、具体案探る

「ミズベリング」は「水辺」に「ring（輪）」や現在進行形の「ing」などを加えた造語。参加者は10人ほどのグループに分かれ、天竜川や太田川などの河川を想定して意見を交わした。具体的なフィールドやターゲット、必要な資源などを含めた提案をし、複数の水辺エリアで同時に映画を上映するイベントや、地場産品を集めた「川の駅」のアイデアが挙がった。

同事務所の小野秀樹副所長は「人が集まることでビジネスや教育などいろいろな可能性が生まれる。水辺資源を活用し、実現できるものはすぐにでもやりたい」と話した。

11月には専門家を招いたトークセッションを行い、実現可能なアイデアについて方向性を決めていくという。

身近な川や湖の活用方法について意見を交わす参加者＝浜松市中区のアクトシティ浜松コングレスセンター